



議会だより

第19号

■発行：佐渡市議会 ■責任者：竹内道廣 ■編集：議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259) 57-8133
ホームページアドレス <http://www.city.sado.niigata.jp/>



赤泊正月マラソン大会

12月定例会

- | | |
|---------------------|---|
| ★平成20年第7回 定例会 ……2p | ★特別委員会活動報告 16～18p |
| ★人事案件・請願・陳情・その他……3p | ★平成20年第5回市議会定例会及び第6回臨時会における常任委員会、特別委員会の要望意見に対する処理状況 19p |
| ★一般質問 ……4～12p | ★議会のうごき・行政視察来市状況編集後記……20p |
| ★常任委員会活動報告 13～15p | |

平成20年 第7回定例会

平成20年第7回（12月）定例会が12月4日（25日の22日間の会期で開催されました。一般質問には17人の議員が登壇し市政をただしました。

平成20年度佐渡市一般会計補正予算ほか議案31件、議員発議3件を可決しました。

行財政改革特別委員会から中間報告、決算審査特別委員会、地域医療体制検討特別委員会からは最終報告が行われました。

また、佐渡市病院事業の設置等に関する条例、公の施設に係る指定管理者の指定など22件を継続審査とし閉会しました。

主な議題

- ◇佐渡市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇佐渡市市政事務嘱託員等設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇佐渡市ポイ捨て等の防止に関する条例の制定について
- ◇佐渡市レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例の制定について
- ◇佐渡市敬老年金支給条例を廃止する条例の制定について
- ◇佐渡市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇佐渡市営畑野駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
- ◇平成20年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）（第9号）について
- ◇佐渡市長の給与の減額に関する条例の制定について

人事案件・請願・陳情・その他

◆人権擁護委員候補者の推薦について

松村 幸子 (両津地区)

可決された意見書

- ◆拉致問題早期完全解決を求める意見書
- ◆介護保険制度の改善を求める意見書
- ◆薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

継続審査となった請願・陳情

- ◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願
- ◆へき地級地見直しに関する請願
- ◆後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書を国に提出することを求める請願
- ◆国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情

11月19日第6回臨時議会が開催されました

本臨時会では、既定の歳入歳出にそれぞれ5億8156万3000円を追加し、予算総額を454億3427万9000円とする一般会計補正予算と、佐渡市消防本部多重無線設備購入契約の締結について可決しました。

佐渡空港2,000m拡張計画と佐渡一羽田間直行便就航について県議会へ強く要望

正副議長及び7会派の代表9人で構成する市議会議員団が1月23日、三林県議会議長をはじめ、星野自民党県議団長など県議会すべての会派に2,000m級の佐渡空港の拡張計画の推進と佐渡一羽田間直行便の早期就航のための支援を要望した。これに対し、三林県議会議長は、「地権者同意に地元が全力を挙げれば県議会としても全面支援する」と答えるとともに、県議会各党会派も全面協力を約束した。今後は地元の盛り上がりで地権者同意が一日も早く得られるよう全力を尽くすことが、佐渡市の将来を占うものとなる。





一般質問



ココが聞きたい!!

- ◆ 金光 英晴 議員……………4
- ◆ 地産地消による地域の活性化
祝 優 雄 議員……………5
- ◆ 公的黒字病院への高負担に疑問
根 岸 勇 雄 議員……………5
- ◆ 佐渡病院に対する財政支援について
白 杵 克 身 議員……………6
- ◆ 文化功労者の顕彰を
村 川 四 郎 議員……………6
- ◆ どうする佐渡の医療
中 村 良 夫 議員……………7
- ◆ バス交通を全島に広げる実験
田 中 文 夫 議員……………7
- ◆ 往來の賑わいを取り戻すには
小 田 純 一 議員……………8
- ◆ 市民の足 路線バスの活用を
加 賀 博 昭 議員……………8
- ◆ 両津病院40床削減をすぢか両津のベッドに轉換せよ
松 本 正 勝 議員……………9
- ◆ 学校施設等の安全管理は万全か
中 川 直 美 議員……………9
- ◆ 保険証の取り上げをやめよ
本 間 千 佳 子 議員……………10
- ◆ 地域の構築に向けて
廣 瀬 擁 議員……………10
- ◆ プレミアム商品券について
大 桃 一 浩 議員……………11
- ◆ 佐渡空港の整備、羽田発着枠の確保を急げ
小 杉 邦 男 議員……………11
- ◆ 合併特例債事業の実施は市民への約束
中 川 隆 一 議員……………12
- ◆ 指定管理者制度について
近 藤 和 義 議員……………12
- ◆ 格差市政を断つ



一般質問

金光 英晴 議員

地産地消による地域の活性化



【質問】 地産地消に小規模農家の農産物利用を取り入れた流通システムを確立すれば、地域の活性化に繋がるのではないか。

【総務部長】 行政評価システムに基づく新年度の予算編成中であり、683項目の事務事業見直しを優先度をつけて予算設定をする。遊休地、遊休施設普通財産の処分実績は、現在31件で1億4000万円。年度内に更に5件ほど追加予定。集会場等の払い下げはIT集会場等の払い下げはIT上も検討中。借地料は今年度700万円減だが、今後現行の約1億5000万円の借地料減額に向けた取り組みを進める。

【市長】 佐和田への本庁移転は一考すべき点もあるが、合併協議の約束で現状維持となっており、議会も本庁の周辺整備完了まで現状のままとしてほしい。

経済対策について

【質問】 経済活性化へ新年度に向けた調達品・工事等の発注状況と指示は進行しているか。

【企画財政部長】 12月現在、調達品76・6%、工事75・7%の発注状況で、それぞれ対前年7.9%と6%の増加引き続き可能な限り前倒しの発注を指示している。

米の戦略的販売について

【質問】 「トキと暮らす郷」認証米の販売が全て全農を通す理由はなぜか。

【農業振興課長】 JAの販売力よりも全農の方が上と言うことだと推測するが、JA側が販売力を持っては生産者収入が増えるので市も支持していく。

行財政改革について

【質問】 事務事業の評価と見直しはどのような手法で行うのか。普通財産の年度内処分実績と今後の費用算定はどうなるのか。行政財産の処分や莫大な借地料の減額への考え、また佐和田支



「トキと暮らす郷」認証米



一般質問

祝 優雄 議員

公的黒字病院への 高負担に疑問



市長 平成23～24年の工事で25年4月の開校と考えている。

質問 新しい病院建設の支援に反対はしない。しかし、グラウンドを取上げ子供たちが勉強している敷地内で病院建設を先に進める。子供たちを勉強にふさわしくない教育環境の中に置き、自分の都合だけを前面に病院建設を進める。このような振舞いは無責任というよう無神経ではないか。金井小学校の移転が完了してから病院建設をできないのか。

質問 厚生連佐渡総合病院から改築に対する支援要請を受けているようだが、佐渡総合病院の収支は黒字、赤字どちらなのか。

市長 佐渡病院については黒字と聞いている。

質問 黒字ということは、自力で改築の力を持っているということである。佐渡の医療の中心的役割を果たしている病院であるため何らかの支援は必要と思うが、収支が黒字とは基本的に自力で改築も運営もできるということである。要請があった建設費の3分の1である30億円、建設用地2万坪。明確な根拠を示す必要がある。市長はどのように考えているのか。

質問 新鋭の設備を設置することは島民の安全安心に必要。しかし、具体的に病院の規模、設備、陣容など内容がまったく示されていないのに、30億円、2万坪

では島民の理解は得にくいと思うがどのように捉えているのか。

市長 厚生連では2月に県に医療計画を提出すると聞いている。

質問 金井小学校のグラウンドを病院の建設用地と考えるようにしているのか。

市長 黒字も償却をどのようにするかで違ってくるが、最初に二つ話があった。新たな投資として、進歩しているのか。



一般質問

根岸 勇雄 議員

佐渡病院に対する 財政支援について



質問 新航空会社の就航時期と用地交渉の見込みについて問う。

市長 県主導で複数の会社と折衝中。現在のところ運輸航会社は決定していない。

質問 佐渡厚生連病院に対する財政支援について土地の無償貸与と30億円を支援する場合、両方合わせて50億円分の仕事を担保に託してほしい。また、県の支援分についてはどうなっているか。

市長 十分検討してみたい。また30億円の一部を負担いただくよう県に対して要望中である。

質問 除雪委託の基本待機料制度について見直しが必要ではないか。

市長 佐渡市も従来の支払い制度の見直しを行い、機

械別に機械管理費を支払う。

質問 合特債利用の今後の建設計画について特に金井小学校改築事業についてはどうなっているのか。

学校教員課長 移転候補地として千種地内にあるNSG

を予定、また今年度中に基本設計を委託し来年度以降に実施設計を行い、23～24年度で建設工事を行う。

質問 指定管理者の定め方について特に松泉閣及び新穂潟上温泉にチップボイラ

1の設置をしたことによる燃料代について問う。

福祉保健課長 平成19年度実績として

灯油使用量はこれまでの松泉閣の灯油使用量に比べ45%の削減となった。

しかし灯油価格の高騰もあり収支が合わなかった温泉施設と同様の考え方で補てんを行う予定。併せて経費等の内容を精査の上、契約額の見直しも行うことを考えている。

質問 いこいの村、こがね荘の存続について問う。

福祉保健課長 いこいの村については地元と十分話し合

い、どのような運営方法があるか十分検討したい。こがね荘については21年度は市直営とし業務を委託の上、施設運営を行うが、将来的には民間委譲を目標に関係者から意見を聞きながら検討したい。



金井小学校グラウンド



一般質問

白杵 克身 議員

文化功労者の
顕彰を



〔質問〕 文化功労者に東京大

学副学長浅島誠氏が選ばれた。市民にとつても名誉と

誇りであり、明るい希望を

与えてくれた。先生の偉業

と功績を讃え、顕彰する考

えはないか。

〔市長〕 佐渡出身の浅島誠先生が選ばれたことを本当に嬉しく思う。穏やかな人柄と着実な研究成果が世界を大きく感動させた。名誉市民条例の制定を検討し、市民からの意見も伺い対応したい。

民間給与の
調査結果の活用を

〔質問〕 市が実施した市内民間給与の調査結果によれば

民間と市職員との給料は月

額2万1024円の格差が

あるとされている。市長は

員の給与制度に反映させるのか。

〔市長〕 民間企業の給与水準

は非常に厳しいというのが

実感。地域産業全体が景気

低迷で苦しんでいる中で、

これからどうするか。本年

4月から市職員も僅かでは

あるが3%の給料の減額措

置を講じている。民間賃金

体系を考慮しながら適正に

対応したい。職員にもその

ことを理解して効率よく仕

事をするにより、大きなサ

ービスの向上に繋がるよう

総額は実に10億6543万円に上る。納税義務意識の高揚と公平性の確保の観点からも滞納を放置することは看過できない。債権管理条例を制定する考えはあるか。

〔市長〕 10億円を超す市債権

があることはただならぬ。

さつそく専門の組織、課を

設け債権の回収に全力を拵

げる。

〔質問〕 条例提案の時期はい

つ頃を想定しているか。

〔市民環境部長〕 浜松市の事例

を参考に来年4月に組織を

設け研究を進め、できるだけ

早い時期に提案したい。

市債権管理条例の
制定を

〔質問〕 佐渡市の債権（滞

納）は平成19年度末で市税

が6億3831万円、国民健康保険税2億3843万

円など13の債権項目で滞納



本庁市民課の窓口



一般質問

村川 四郎 議員

どうする
佐渡の医療



〔質問〕 病院改革は、市民に

安全安心の高度医療を提供

すると共に市の財政安定の

両面から緊急の課題である。

提案の公営企業法の全部適

用を条件とした市立病院改

革は、単なる小手先の手法

であり全く不十分で認めら

れない。地域の人達へ市立

病院の運営形態変更の説明

と理解を求めるときである。

して継続させるべきだ。

〔市長〕 高度医療確保のため

の佐渡病院の新築移転準備

の声を聞くのか。

〔教育長〕 公開討論会は様々

な意見で一つにまとまらな

かった。今後も市民の声を

広く取り入れていく。

〔質問〕 毎年開催の「緑の少

年団」植樹祭運動はその場

限りである。教育の一環と

して継続させるべきだ。

〔産業観光部長〕 今後は緑の少

年団活動を植樹だけでなく、

育樹の面からも検討して継

続したい。

〔質問〕 問題多発の外海府の

巨大杉は地元や島内愛好者

の立場で広く利用できるよ

うに検討チームを設置して

現地調査や関係者会議を進

める。

〔市長〕 市が中心となり、地

元や市民、観光客それぞれ

の立場で広く利用できるよ

うに検討チームを設置して

現地調査や関係者会議を進

める。

〔質問〕 和牛の増頭事業に積

極策を求める。減反田、耕

作放棄地利用の景観保全、

飼料自給率、作業軽減等で

新たな循環型農業を目指す

積極的和牛の増頭を



電気柵による耕作放棄地への放牧



一般質問

中村 良夫 議員

バス交通を 全島に広げる実験



〔質問〕 両津福祉バスを利用している人のうち、一部の人は、今よりも不便になるとは、どういうことか。

〔社会福祉課長〕

社会実験の資料収集をするため、福祉バスよりも対象者を限定した。環境は解決したのか。

〔質問〕 社会実験に参加できなかった人は何人いるのか。

〔社会福祉課長〕

169人である。電力は、どのくらい張るのか。

〔質問〕 169人の方々に実験に参加できるようにしていただきたい。

〔社会福祉課長〕

社会実験に対象者を変更させた。

〔質問〕

今からでも169人の方々が参加できるように改善すべきかどうか。

〔市長〕

これで万が一有事が発生

これまでの福祉バス利用者

363人

12月1日の実験バス利用者

194人

利用できなくなった人数

169人

した時、国民保護計画には対応が書かれていないが。
〔総務部長〕 具体的には定めていない。

地元業者に 仕事をまわして

佐渡経済の活性化を

〔質問〕 予め参加を希望する業者を受け付け、業者が見積書を出すことで、指名参加願を提出していない業者も登録される制度にすべきだがいかがか。

〔市長〕 登録制度については今後、検討する。

妙見山の巨大レーダー

〔質問〕 レーダー建設で安全、環境は解決したのか。

〔市長〕 運用されていないので計りようがない。

〔質問〕 電力は、どのくらい張るのか。

〔総務部長〕 資料はない。

市民は不安であり、電磁波は健康に影響するが。

〔質問〕

運用が平成22年4月以降なので、電波法の基準内であることを確認していきたい。

〔質問〕

レーダー基地で万が一有事が発生

これ

で万が一有事が発生



妙見山で建設中のFPS-5レーダー



一般質問

田中 文夫 議員

往來の賑わいを 取り戻すには



交流人口の増大策について

〔質問〕 空・海・陸の交通体系の再構築が必要ではないか。

〔市長〕 羽田直行便への取り組みは、本年度中に有識者の検討会が発着枠の確保策をとりまとめることになっている。運行会社については、知事は三セク設立も含めて検討すると言っている。

〔交通政策課長〕 社会実験という取り組みをしている。船と連携しながら乗り入れの権利確保に努めていく。

海路については、国の支援を入れて、観光の魅力ある船を乗しむ仕組みについて議論が進められている。「新潟→両津」航路に年間午後九時台の最終便の確保をお願いしていく。陸については、バスは二億円の補助をしているがもう少し使いやす性格好で基幹の交通ラインを結ぶ。飲酒者用ナイト

としても複眼的視点、二股の対応の危うさもあるのではないかと。

〔交通政策課長〕 佐渡の場合は要の位置にあるため上越だけでなく北陸新幹線の活性化同盟両方に参加している。上越側の危機感と佐渡への期待は特に大きいのだが、2014年に向けて小木・直江津航路二隻体制にも取り組んでいる。

〔質問〕 滞在型宿泊者への「公の施設」開放の状況は。

〔産業観光部長〕 潮津の里、ウツドパレス妹背、サンライズ城が浜、いこいの村、ドンドン山荘等の実宿泊数は1万1953人、内15%が2泊以上。2泊は修学旅行、自然教室、トレッキング1332人、3泊スポーツ合宿、イベント参加282人、4泊は合宿、仕事78人、5泊以上は仕事等長期滞在者で61人。来島者の減少のありで施設経営は厳しい状況であるが、指定管理者の努力で運営してきている。

一般質問

小田 純一 議員

市民の足 路線バスの活用を



〔質問〕全国的にバス路線の廃止や縮小が増大する中で佐渡市は、国・県の財政支援により、市の実質負担は約3300万円で16路線が維持されている。バスの運行形態、経路、料金の見直し、低床バスの導入等により同一路線を運行する福祉・通院・スクールバスの代替機関として全島的な利

用拡大策の検討を。
〔市長〕安く、公平な移動の自由が交通弱者に必要。公共交通活性化再生事業の中で、全島拡大する施策を検討する。

〔質問〕交通空白地域対策としてのコミュニティバスは補助金に頼らず運行可能な継続性が大切。地域が主体で運営、経費を行政と一体になって負担する住民合意が必要と考えるが。
〔市長〕バス停まで遠い、新たな路線を希望する人等が病院や買物に行ける仕組みづくりを検討したい。

〔交通政策課長〕採算性のある路線と周辺の路線を繋ぐ方式、空白地域のデマンド方式、会員制方式等を協議会において検討する。

介護施設整備が急務

〔質問〕県内他地域に比して要介護度4〜5の重度待機者が70・4%と突き出している。今後、佐渡病院や両津病院の減床計画による医療難民が予測される。小規模多機能を含めた施設整備

こととしたい。
〔社会福祉課長〕今後検討することとしたい。

模多機能を含めた施設整備

の年次計画策定は。

〔市長〕自宅療養支援を含め適切に対応したい。

〔高齢福祉課長〕小規模多機能グループホーム等の施設整備は21年度からの第4期介護保険計画で検討中。

優先すべきは学校建設

〔質問〕予期しない佐渡病院新築への財政支援。合特債事業の見直しが必要。学校保育園建設は他事業に優先し計画の前倒しを。
〔市長〕合特債と他の有利債を併用しながら、計画リストは遅れても実施する。

〔財政課長〕合特債事業のあり程度の調整は必要。



一般質問

加賀 博昭 議員

両津病院40床削減を 「すこやか両津」の ベッドに転換せよ



〔質問〕佐渡病院に30億円建設補助をしても、医師充足率は18年度で80%である。建設する病床は350床。それで試算すると佐渡圏域の病床数は371床足りない。医療難民が出ることに

なる。
〔市長〕厳しい状況は認識している。

〔質問〕それとの関連で、両津病院の病床40床削減の利

用はどうする。
〔保健医療課長〕一室当たりの患者を減らす予定だ。

〔質問〕減らす病床は「すこやか両津」の介護ベッドに転換すれば、入所を待つて

いるお年寄りが助かる。その場合、転換施設に介護人の詰め所があるが、渡り廊下の鍵を開ければ「すこやか両津」と一体になるから不要になる。

〔社会福祉課長〕できるかどうか検討する。
〔質問〕両津病院の運営上の借入金はいくらか。
〔保健医療課長〕一時借入金は6億円である。

〔質問〕介護施設の待機者数は。
〔社会福祉課長〕280人はいる。



すこやか両津

渡り廊下がなければ病院側にも詰所、浴場、食堂、談話室が必要

〔質問〕その人達のために市長は10億円を両津病院に払って介護施設を増設すべきだ。
〔市長〕埋蔵金が出るかと思

っていたが、そういうことか。病床の利用計画は皆さんと考えていく。

市営住宅を シルバーハウジングに

〔質問〕病院を退院して介護施設に移る一日の介護に困る1万3000世帯に市営住宅をケア付き住宅に。

〔市長〕建設課と社会福祉課の協議が必要と思う。

印刷業を助けて 地元発注をふやせ

〔質問〕印刷の発注は地元業者にすべきだがいかがか。
〔産業観光部長〕印刷費は8000万円のうち半分くらいは残っている。それを地元発注して、地元業者を支援したい。





一般質問

松本 正勝 議員

学校施設等の安全管理は万全か



に至っている。只今から指示を出し対処する。

教育長 大変重要な指摘を受けた。安全管理は基本であるので一刻も早く対処する。

質問 長年、佐渡観光の第一線に立って、郷土民謡の伝承や誘客宣伝に功績のある民謡団体が後継者不足等で、継承に行き詰まり活動休止や解散に追い込まれている。苦境にあるこれらの団体に具体的な支援、育成策を考えているか。

市長 今年中には市民に対し説明会を開催する。
質問 両津小学校のグラウンドに設置されているバックネットの老朽化が激しく、鉄骨の腐食や錆びが目立っている。児童生徒の安全に

関する事であり、日頃の安全管理が行き届いているのか疑問に感ずる。早急に対策を立てるべきはなにか。また、来年開催の「トキめき新潟国体」の競技場周辺の安全対策も問う。

市長 関係施設の統廃合を検討しているが、郷土博物館の移転については、現在考えていない。

質問 国道350号線のバ



老朽化が激しい両津小学校グラウンドのバックネット

質問 県内の多くの自治体では、行政が使用する公用封筒に企業広告を募集し、逼迫する自主財源の一助にしているが佐渡市でも取り入れる意思があるか。

総務部長 現在県内7市で採用しているが、ダイレクタメール等との混同の恐れがないかなど、他市の事例を研究して検討していきたい。

質問 国保税滞納での保険証の取り上げ率は県内の市の中で上位。無保険状態の子ども世帯への対応。また、不景気で低所得者層が多い国保税を引き下げるには、一般会計繰り入れを行うべきだが法定外の一般会計からの繰り入れはいくらか。また、払えない加入者の税の申請、減免や医療費の窓口負担の軽減制度はどうなっているか。

質問 国民1人1万2000円を配る「定額給付金」、格差社会を作り出し、財政状況を悪化させた「小泉構造改革」についての見解は。
市長 定額給付金で頂けるものはありがたく頂く。小泉三位一体改革で佐渡市の本来の交付税が来なくなり、影響を受けた。
質問 国保税滞納での保険証の取り上げられるが、佐渡市は、435人で25%が滞納しているがどのように対応するのか。
市長 一年以上滞納があると資格証の発行になる。



一般質問

中川 直美 議員

保険証の取り上げをやめよ



で県平均の68%よりも低い。市民の安全と財産を守る最低限の消防体制は充実すべきではないか。

総務部長 人員は基準に達していないが、工夫してやっても

質問 19年度に整備した湊第2駐車場は、多い月で552台、1日平均19台と利用度が低い。料金改定等も含め活用を高める方策を検討すべきでは。

建設部長 湊第2駐車場の利用状況は低いが、料金も低くしているので現行で様子を見る。

市長 火災や大規模災害、有事時の消防の果たす役割が大きくなっている中で、5人でポンプ車を動かすところを3人体制で行っている署所もある。人員の充足率は57%

県内20市の保険証とりあげ率ワースト3 (H20.9.15現在)

- ①佐渡市 283世帯 (27.2%)
- ②十日町市 148世帯 (26.7%)
- ③柏崎市 176世帯 (19.3%)

*厚労省H20.9.15調査「資格証明書」発行状況から



一般質問

本間千佳子 議員

地域力の構築に向けて



【質問】「地域力」は1995

ある。

年、阪神・淡路大震災をきっかけに生まれた言葉であり、行政だけでは活動に限りがある。市民やボランティアを含めた総合的な地域力が求められる。総務省は、11月4日に「地域力創造に関する有識者会議」の初会合を開き、景気低迷や人口減少社会、コミュニティの脆弱化、疲弊する地方の立て直しなど、魅力ある地域社会を創造する意見交換を行った。佐渡市における、地域活性化の力とは何か、市長の見解をたずねる。

【質問】女性力を伸ばし、女性の力を発揮できる社会づくりが、地域力の構築に継ながると考える。「女性のつどい」に参加した感想と、来たる6月に開催される新潟県婦人連盟大会の行政支援及び取り組みをたずねる。

【質問】50年か100年に一度あるかないかの金融危機で日本の景気は後退局面にあり、食品などの身近な物価上昇に生活現場は困っている。定額給付金は、人々の懐を温め、景気のムードを変えるものと考えているが、評価と取り組みをたずねる。

【市長】高齢者などの困窮度を柔らげるものであり、ありがたいと思っている。

【市民環境部長】12月4日、県で担当者会議が開かれた。市町村に業務が下りること

で早期に準備をするよう指示があった。

【市長】地域の持つ力は、行政だけでは複雑多様な社会が運営しづらくなっている。住民などと連携して地域活性化をはかる考えであり、実績として「佐渡おこしチャレンジ事業」が

【市長】女性との共同参画は重要で、男女相互の意識改革や委員会等への女性登用率を更に高め続ける。「女性のつどい」には、いつも招待

定額給付金の評価は

【質問】50年か100年に一度あるかないかの金融危機で日本の景気は後退局面にあり、食品などの身近な物価上昇に生活現場は困っている。定額給付金は、人々の懐を温め、景気のムードを変えるものと考えているが、評価と取り組みをたずねる。

【市長】高齢者などの困窮度を柔らげるものであり、ありがたいと思っている。

【市民環境部長】12月4日、県で担当者会議が開かれた。市町村に業務が下りること

で早期に準備をするよう指示があった。



一般質問

廣瀬 擁 議員

プレミアム商品券発行について



【質問】昨年を100として

今年度の佐渡市の経済指数は、のらないようにしたい。

【産業観光部長】はつきりしたものはないが県内の9月、11月の経済指標をみると2か月連続で下を向いているので佐渡も同様と思う。

【質問】プレミアム商品券発行での経済効果は。

【産業観光部長】販売額の1.6倍で約18億円程度の経済波及効果（佐渡市産業関連連表で試算）と見ている。

【質問】総額2億900万円の

【質問】佐渡市の職員体質について。市長の施策が正しく伝わっているのか。また職員の声が率直に市長に届くシステムか。

【市長】意思や施策の伝達、また職員の考えが伝わってくることはなかなか思うようにいってない。部長制を敷いて3年に入り、皆さんの評価とは別に、部内掌握の可能性が大きくなってきている。また本人達の覚悟の程も十分聞いている。

【質問】総額2億900万円の

【市長】来年は新潟県の大観の交流年であり、いろいろな行事がある。トキ放鳥や佐渡金銀山遺跡暫定リスト入りで増えるものではないが、町並みや遺産の定義付け、発掘の位置付けをしっかりとしないと見ていくのか考え、積極的に参画してもらう。画してもらうよう教育しているつもりである。

【市長】地域公共交通活性化協議会が実証実験をやるうとして。高齢化した地域は買物にも行けない、バス料金が高いと言ったこともあって、できるだけ公平に、互いを補完する施設同士でもりである。

【市長】来年は新潟県の大観の交流年であり、いろいろな行事がある。トキ放鳥や佐渡金銀山遺跡暫定リスト入りで増えるものではないが、町並みや遺産の定義付け、発掘の位置付けをしっかりとしないと見ていくのか考え、積極的に参画してもらう。画してもらうよう教育しているつもりである。

給付額の例

1人当たり1万2000円
18歳以下、65歳以上は1人当たり2万円

1万2000円×2人(夫・妻) + 2万円×2人(子供2人) = **6万4000円**

夫 妻 子(18歳以下)

2万円×2人 = **4万円**

高齢者の世帯(65歳以上)

